

ドロメ



写真1



写真2



写真3



写真4

mini・mini 水族館では、「ドロメ」という名のハゼの仲間を展示しています。

ドロメは春ごろに磯で産卵し、初夏に子どもが群れているのをよく見かけます。写真1、2は、大きさ3～5cmのドロメの子どもです。小さい個体では尾びれの付け根の目玉模様（赤矢印）が目立ち、少し大きくなると尾びれの後ろが白く縁どられる（黄矢印）のがわかるようになり、よく似たアゴハゼの子どもと区別できます。「海藻の森と磯浜」水槽にドロメの子どもを展示したのは約2年前。今では大きさは13cmほどに成長しました（写真3）。

ハゼの仲間の特徴は、左右の腹びれがくっついて吸盤状（緑矢印）になること。写真4のように水槽の壁に吸盤ではりついている様子を見ることができます。



せんなん里海公園
Sennan Satoumi Park, OSAKA

管理事務所